

新潟市暮らしの点検・評価アドバイザー会議におけるご意見への対応等

事業名：地域商店魅力アップ応援事業

No.	ご意見	対応等
1	<p>場所を選ばず、申請があったものを審査して補助金を出すのではなく、どこのまちをどういう風に活性化していくかということ具体的に皆さんからの意見を取りまとめた中で、重点的な補助金の出し方になるよう見直す必要があるのではないかと。各地区の案件の内容を精査した上で、地区ごとに優先順位をつけることも重要ではないかと。</p>	<p>現在、本市では、地域の特色を活かした効果的で継続性のある店舗づくりに対して、「がんばるまちなか支援事業」による支援を行っています。</p> <p>他にも、個性あるまちなかの実現を図るため、各区が拠点商業活性化推進事業計画を策定し、同計画で定めた拠点商業地域で行う事業者の取り組みに対して、補助率のかさ上げなど重点的な支援を行っています。</p>
2	<p>高齢化が極度に進むところや極端に生活弱者が集中するところへのサービスとまちづくりをどう進めていくか。「買い物難民」について、まちづくりの観点と商業振興をもう少しきちっと位置づけていく必要がある。</p>	<p>現在、本市では、宅配サービスなど地域ニーズに基づき商店街が実施する新サービスに対する補助制度として、「商店街活性化ステップアップ事業」に取り組んでいます。</p> <p>また、持続可能な公共交通体系の構築に向け、新バスシステムの改善と、さらなる利便性の向上とともに、区バスや住民バスへの支援にも引き続き取り組んでいます。</p> <p>今後も、地域の実情に応じた支援サービス拡充に向け、庁内や地域の関係団体との連携を図りながら、一体となって取り組んでいきます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この補助制度を使ってどのようなビジネスモデルが新たに普及したか、そういう成功事例を収集・発信してもらいたい。</li> <li>・補助対象のその後をデータベースとして蓄積していったら、将来的にビッグデータの一つとして活用できるようにしてもらいたい。</li> </ul>	<p>当事業を利用した事業者へ、ホームページやSNS、店舗広告にて当事業を利用した旨を公表することを依頼しています。</p> <p>また、当事業利用後の売上高や来店客数などの状況について、3年間報告していただいています。</p> <p>蓄積したデータを分析し、今後の商業振興施策に活用できるよう、検討していきます。</p>

4	商品のPRや販売の仕方などにSNS等を活用するための経費も対象にしてもいいのではないか。	<p>「商店街活性化ステップアップ事業」では、商店街のマップやホームページの作成など商店街の売上向上を図るための新たな取り組みを支援しています。</p> <p>当事業では、商品販売にかかるソフト面については、補助対象としておりませんが、他都市の事例などを参考に、商業者や商業者団体などと意見交換を進め、今後の事業の方向性と併せて検討していきます。</p>
5	新潟市の近郊（三条，新発田など）では実施していない制度である点なども考慮してもう少し工夫してPRした方がいいのではないか。	<p>市内の商店街や商業者団体のほか、業種組合や金融機関などを通じたチラシ配布，市報やホームページへの掲載，商業者や金融機関を対象とした説明会の開催など幅広く広報を行ってまいりました。</p> <p>今後についても，多くの方々から本制度をご利用いただけるよう，一層広報の強化を図って行きます。</p>

■その他参考意見)

- ・京都の清水寺で行われていたサービスで，着物のレンタル，ヘアスタイルから化粧まで一式でいくらという形で提供するサービスを古町でも取り組むことで，商店街だけではなくて，まち全体の活性化の中の大きな目玉になりそうな気がする。